

健康管理がテーマ

OCHIS WEBセミナー

ヘルスケアネットワーク(OCCHIS)主催で国交省後援の第15回OCCHISセミナーが16日、開催された。今回は新型コロナウイルス感染防止の観点から、Webセミナー形式での開催となった。テーマは「アフターコロナを見据えたドライバーの健康管理」情報の一元化で事故リスクの予兆発見」で、Zoomにて全国の事業者が視聴した。

武田裕理理事長は「限られた時間ではあるが、セミナーが有意義なものとなるよう祈念する」とあいさつ。

その後、国土交通

情報の一元化で
事故予兆に挑戦!

副理事長 作本 貞子
国土交通省健康労働安全対策推進委員会
交通安全推進部健康労働安全推進課長代理

OCCHIS
NPO 法人
ヘルスケアネットワーク

主催者
国土交通省健康労働安全対策推進委員会
交通安全推進部健康労働安全推進課長代理

協賛者
国土交通省健康労働安全対策推進委員会
交通安全推進部健康労働安全推進課長代理

協賛者
国土交通省健康労働安全対策推進委員会
交通安全推進部健康労働安全推進課長代理

協賛者
国土交通省健康労働安全対策推進委員会
交通安全推進部健康労働安全推進課長代理

第2部で黒田悦子保健師は、「ドライバーの生活習慣の現

状と変化」運輸ヘルスケアナビシステム利用者アンケートより」をテーマに、2018年から行われている生活習慣アンケートをもとに、飲酒習慣や喫煙習慣の変化などを実際の数字を示しながら説明した。

続いてコロナ禍における事業者の取り組みとして、OCCHISの平田範江マネージャーが、堀内運送経営企画室・人事課課長の三浦隆志氏に生インタビュー。コロナ禍でのワーカー接種の社内方針などを聞いた。

最後に作本

貞子副理事長は、「情報の一元化で事故予兆に挑戦!」と題し情報提供。OCCHISの独自調査でトラックドライバーにおける高血圧者の実に8割が疑SASであることが判明したことを説明した。

(木村麻理奈)